



広報 ひがししらかわ

No.300 61/1

■発行 東白川村 ■編集 東白川村総務課 ■〒509-13 岐阜県加茂郡東白川村神土548番地
 ■☎05747>8-3111・内線34 ■印刷 益田郡下呂町 下呂印刷有限会社



賀正

1月2日、初稽古を終え、村民センタ
 ー前でモチつきをする少年剣道クラブ
 の子供たち
 — 昔ながらの臼や杵を使ったモチつきにごきげん —

人口の動き

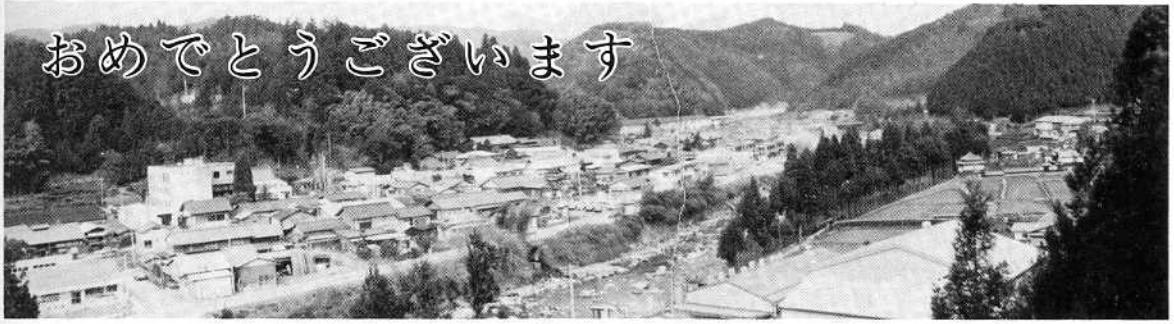
—12月末住民登録人口から—

世帯数	931世帯
人口	3,606人
転入	2人
転出	4人
出生	2人
死亡	4人
先月と比較して4人増	
昨年と同月と比較して33人減	

おもな内容

- 新年のごあいさつ…P2~3
- 広報300号のあゆみ P4~8
- サラリーマンと税金…P9
- 新しい年金制度①…P10~11
- ユネスコグランプリ受賞P12
- 2年連続県一位…P13
- 春の夜の祭典ハレー彗星P14
- できたぞ越原センター…P15
- お知らせ…P16
- ふるさとの花①…P17
- 私の作品…P18
- けいじばんはP12~13の下欄

おめでとうございます



東白川村長
安江 多 策

新年のごあいさつ

また社会経済等諸情勢は極めて厳しい状況にあり、高齢化、情報化、国際化など時代を画する大きな変化の年と思われまふ。この流れの中で人々の価値観はますます多様化し、単に経済的、物質的豊かさだけだけでなく生活意識の「ほんもの」志向や、心の健康づくりが強く求められて参ります。このような変化に対応していくには、私たちはこの故郷に住み、ここで働き、かつ、憩う毎日の生活を、より住みよい場とし、活力と潤いのある地域社会の実現に向かって、勇断をもって進まねばならないと存じます。

本村も村づくり総合計画を軸に、新たに第二次総合計画を策定し「創力ある人間性豊かな村づくり」を基本に、本年もまた新しい飛躍を目指し、意欲と創意の躍動が始まるわけでありまふ。世界の歴史は、数々の教訓を与えておりまふ。例えば人類が都市に集中し、物質文明が発展すれば、人々は当然これに酔い、人間の生き方の基本原則である社会への連帯と協力の心が薄れ、勤労意欲も創造意欲も失い、必然的に滅亡を招くことはローマやギリシャで物語っておりまふ。

村づくり構想は、その実現の手段としての事業推進はもちろん、本来の目的は住民意識の改革にありまふ。順調な事業推進の中で、本年度からは更に連帯と協調を深めながら、事業効果を上げねばなりません。本村の産業振興の基本は「住民自身の問題として、自らの手と力で取り組む」という考え方であり、意欲と自主性、創意と工夫を生かしながら連帯と協調の心を更に深め、生産性の向上と体質の強化を図る大切な年でありまふ。地域を支えるものは人であり、地域に根ざした独創を出し得る人こそ本来の村づくりの原動力であり、連帯と協調の活動の中にこそ地域の活力を生み出す故郷づくりの源があり、意欲と創造こそ新しい飛躍を生み出す根元だと信じまふ。

農村を取りまく諸情勢は極めて厳しく、幾多の困難な要因を抱えておりますが、今こそ二十一世紀への橋渡しとして、基礎的条件を早急に整え、時代の潮流に対応できる産業構造、営農類型を、連帯と協調のうるわしい心の中から創り出し、自然、生産、生活の調和ある推進を図ることは、豊かで活力ある地域社会、明るい村づくりの根元であると存じます。

本年も益々勇断をもつて、基礎的条件整備とその事業効果を更に高める新たな出発の年として邁進する覚悟でございます。相変らずのご理解とご協力をお願い申し上げます。皆様のご活躍をお祈りし、ごあいさつと致します。

明けまして、おめでとうございます。希望に満ちた昭和六十一年の新春を迎え、皆様のご健康をお喜び申し上げ、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

厳しい社会経済の流れの中で昨年度は活力を生み出し、豊かな毎日の生活に潤いと安らぎのある地域社会を創り出すための村づくりという総合目標の中で、意欲と創造を基に、力を結集して、その基盤づくりから推進して参りました。

おかげ様で厳しい環境にもかかわらず、各位の深いご認識のもと、積極的なご協力により、諸施策など順調な進展を見ることができました。ここに謹んで厚く御礼申し上げます。新しい年を迎え、本年も

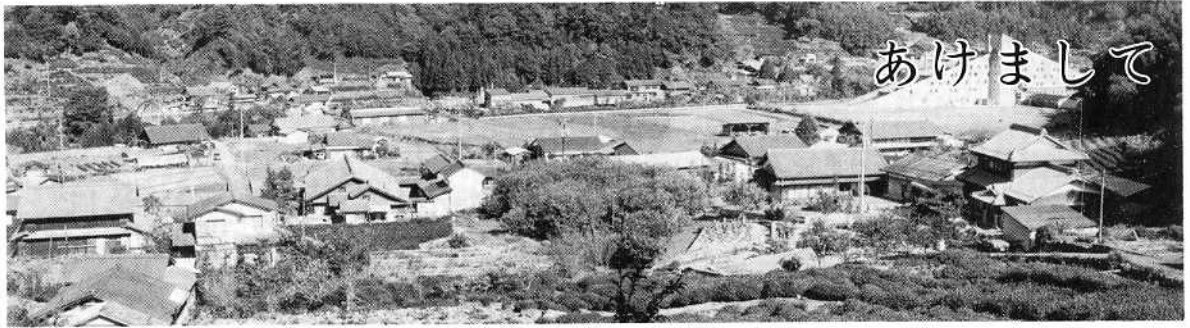
今年
は
寅
年

「虎は千里を行って、千里を帰る」という諺があります。一般には「勢いの盛んなこと」の例えとして用いられますが、もう一つ別の解釈があるようです。

さて、その虎は何をしに千里の道をあわてて帰るのでしようか。実は、虎は自分の子供のことが心配で戻るのでいいいます。恐ろしいものの代表のように言われている虎ですが、大変に子供を大切にするのでそうです。「虎の子」という言葉もこのあたりから来たのでしよう。

虎はエトの動物たちのうち日本に棲んでいない唯一の動物です。もつとも、辰(竜)もいせんが、これは想像上の動物ですからどこにもいません。

虎は中国をはじめ、東南アジアなどには広く分布していますから、エトのつくられた中国では、なじみのある動物だったのです。



あけまして

村民の皆さん、明けましておめでとうございます。皆さんのご協力を賜わり昭和六十年もつつがなく議会活動のできましたことを厚くお礼申しあげます。

成長時代も終局をつけ、一つの段階の節目を迎えつつあります。村の計画に基づき、土地改良、園芸、茶、養蚕、畜産の各生産組合、農協の生産一貫態勢の幕明け。商工業は地場産業の振興にそれぞれ格別のご努力を賜わり森林対策事業は東濃ヒノキの撫育、市場価格の安定に懸命のご努力を尽くされました。学校教育は、全国的いじめの問題等々教育のむづかしさの間にも、正常で健やかな児童たちの成育振りは関係の皆さん方のご苦勞を物語っています。

振り返って、多難の中にも皆さんと共に歩いた一つ一つの出来事も、鮮明な思い出を残して昭和六十年一年に受け継がれ、新たな躍進の年になりますことを心から祈ってやみません。

創力ある人間性豊かな村づくり。昭和六十一年度から十年間を目標年度とし東白川村第二次総合計画が策定され「心のかよう村づくり」をキャッチフレーズに、豊かで住みよい地域社会を目指して新しい東白川村立村のスタートの年となりました。

有史以来、子孫繁栄をただひたすらに希い、開拓の執念に生きた先人たちが厳しい試練に耐え忍び、限りない愛村の情と努力を重ねて今日に至った恩恵に、ただ感謝のほかりません。

物による豊かな幸を願ってきたわたしたちに今、低成長時代がやって来しました。今までと違って経済的な苦勞も大きくなると思います。「少欲知足」という言葉があります。欲望にかりたてられがちな心を自ら抑え、足りることを知る……それをもっと美しく慎しみ深い言葉で綴った宮沢賢治の詩があります。

雨ニモマケズ、風ニモマケズ、雪ニモ夏ノ暑サニモマケズ、丈夫ナカラダヲ持チ、欲ハナク、決シテイカラス、イツモシズカニワラッテイル、一日ニ玄米四合ト、味噌ト少シノ野菜ヲタベアラユルコトヲ、ジブンヲカンジョウニ入レズニ、ヨクミキキシワカリ……ソウイフモノニワタシハナリタイ。

年頭のごあいさつ



東白川村議会議長
大坪 信也

取り越し苦勞や、案ずることのなんと多い昨今です。だがそこに止まっただけではなにもできません。わたしも一人の人間として、ためらわず苦手は経験を通して議員同志語らいながら村民各位の付託にお仕える所存でございます。

第二次総合計画実践に長年の経験を生かして、満々の自信を燃やされる安江村長。以下行政のスタッフに今後を期待し、とりわけて村の若い青年諸君、皆さんの近代感覚が来るべき二十一世紀社会構成の重要な一人一人であることを信じ、伸びゆく諸君にちなみ彌栄の春を寿ぐと共に、みなさんのご健康を祈念し新年のごあいさつとします。

もつとも、虎は日本で見ることができないにもかかわらず、その存在はかなり早くから知られていました。七世紀までに書かれた日本書紀にはすでにその名が出ていますし、天武天皇の朱鳥元年（六八六年）には、虎の皮が大陸から渡来しています。

そして、大陸文化とともに虎に関する故事、諺がいろいろ伝えられ、いまも広く知られています。

たとえば、日ごろなんとなく使う『虎視たんたん（眈眈）』をはじめ『虎の威をかる狐』『虎の尾をふむ』『虎口をのがれる』などいろいろあります。

いずれも虎が強いもの、危険なものとして登場しています。では虎の巻とはどういうことかと調べてみましたら、中国古来の兵法書、つまり、いくさの仕方を教える書物に由来する言葉のようでした。

ところで、最近では乱伐や焼畑農業によって熱帯雨林が減少し、森林に棲む虎の生存も脅かされています。

本当に恐ろしいのは、虎よりも人間の所業だということでしょう。

寅年を契機に自然保護の大切さをもう一度みんな考えてみたいものです。

広報300号の あゆみの中から

い — ま

新 し い

村づくり計画が生まれる！

広報ひがししらかわは、今号をもって三百号となりました。昭和三十一年三月の第一号から数えて、ちょうど三十年。広報のあゆみは、そのまま東白川村の発展の歴史でもあります。折しも、昭和六十一年の新春を迎えて、「故きを温ねて新しきを知る」のとえの如く、三百号の歴史を振り返りながら私たちの足どりを確認してみたいと思います。そして、昭和六十年十二月の村議会定例会で議決された、東白川村第二次総合計画に光をあて、過去から未来へ、東白川村の進むべき方向を考えたいと思います。

広報に見る世相アラカルト

「……時代の要求として文明の風は、かの重畳たる千山万岳を越えて吹き来たり、電灯事業の計画さえあり：（中略）：吾人は、その一大発展を遂げ居る事実を見て、驚奇の目を張りしものを一切に当局に向って、東白川のため、一は国家福利の進展上、一日も速やかに公衆電話の設置されん事を懇望に堪えざるなり……」これは大正八年

五月一日付けの岐阜日日新聞が「東白川発展号」と題し、紙面四ページをさいて、当時発展途上にあつた東白川村の姿を紹介した記事で昭和三十三年三月広報東白川第一三三三号に転載されたもの一節です。昭和三十年代前半は、戦後の混乱からようやく抜け出たところで、東白川村は

「生まれたら五百円もらえる」これは広報第二号の中の見出しの一つです。国民健康保険から支給される助産費の額のこと、それまで三百円であつたものが昭和三十一年四月から改正されるという内容です。現在は、十二万円ですから正に隔世の感があります。

昭和三十三年、東白川に初めてブルドーザーがお目見得しました。広報第一二二号は、旧紳士小学校の校庭の拡張工事に高らかなうなりを響かせて、珍しいブルドーザーが一日で約四百人分の仕事をすると報じました。そしてブルドーザーは、昭和三十五年（第五一号）には黒淵で、翌三十六年（第五八号）には大明神で茶園づくりに大活躍をしました。人力では考えることのできなかつた大掛りな茶園造成ができ、現在の特産白川茶のもつくりとなつたのです。

生き生きと動きだした村は、将来の指導者を育てるため「青年建設班」をつくりました。昭和三十五年十二月（第五一号）十三人の班員は、六十日間の合宿訓練にいとどみえました。人づくりの大切さは、今も昔も変わりません。



ブルドーザーによる開墾
（昭和35年ごろの茶園造成）

大正八年岐阜日日新聞が指摘した電話は、昭和四年五月一日現在で僅か八本だったのが、昭和三十六年三月には八十九本となり、その年八月、美濃越原局が東白川局に合併されるのを機に農村公衆電話などもでき、二百五十本に増えたことを広報第五七号は伝えていきます。現在では千二十本、ほとんど全戸に普及しました。

学校給食費が昭和三十七年度



広報紙にみる 村の30年

広報ひがししらかわが昭和三十一年三月十五日に創刊されて以来三十年。そこで広報紙でみた村の主なできごとをふりかえてみました。

昭和三十一年三月第一号

「広報東白川創刊」発刊にあたって当時の村長河田勘市さんは、お互い広く見、数多く聞いて、より語り合い明朗なる村づくりの一助として広報を発行すると述べています。当時は、町村合併が話題になったところです。村の人口五千二百人。

昭和三十三年五月第二十六号

「大明神バス開通」七月七日黒淵橋の完成と同時に開通式が行われ、濃飛バス一日二往復の運転を開始した。

昭和三十三年五月第二十六号

「赤痢とたたかう」五加地区から赤痢発生、五加地区一斉検便の結果保菌者九十九人、五加小学校が臨時隔離病舎となる。

昭和三十四年十月第四十号

「台風の本メ跡」九月二十六日夜半中部地方を襲った十五号台風（伊勢湾台風）は各

の年額、小学校で四千四百円、中学校で五千七百二十円であることを広報第七六号は伝えています。現在では、小学校が三万八千四百円、中学校が四万六千八百円、当時に比べ八倍から九倍となりました。給食内容もずっと素晴らしくなっています。

昭和四十年（第七七号）岐阜

- 一 花でかざる運動
- 二 親切にしあう運動
- 三 村をきれいにする運動
- 四 みんなでうたう運動
- 五 スポーツを楽しむ運動
- 六 事故をなくする運動
- 七 時間を守る運動

これらは、今に至るまで村民の心に根深く残っています。

越原公明先生の「二百十四才の鯉の話」

が載ったのは第八一号、昭和四十年四月でした。加賀騒動の前年の宝暦元年に生まれたという「花子」は、その後有名になり、多くの人々の目を惹きつけてきました。二百二十歳で死亡、今は名古屋女子大学に保存されています。

「老人クラブは敬老会ではない」という見出しが見られるのは

昭和四十年九月の広報第八四号で、このころから老人クラブの活動が活発になりました。

昭和二十六年「健康な村づくり」を宣言して以来、村ぐるみで取り組んできた健康づくりが功を奏し、村が保健文化賞に輝いたのは昭和四十年九月十五日（第八六号）、それを前後して村には健康優良校、齒の優良校などいくつかの受賞が相いづぎました。田口一枝養護教諭が文部大臣表彰を受けたのもこの年の十一月でした。

冒頭の岐阜日日新聞の記事は更に「東白川は真に自然美の最も勝たるもの——例え俗物が如

この30年・村の産業の変化

「昨年の産繭額は、村畜業振興五か年計画の七千貫を突破し戦後最高の輝かしい記録をおさめた。」昭和三十一年の広報第一号に、このような記事が見られ

当時の村の主要産業は、養蚕であったことをしのばせます。人が生活していくためには、何らかの所得がなければならず

何に入り込むとも、この山水を俗化すること能わざらん。再びいう。東白川は天下の絶景たり永久に不変に：（中略）：東白川全村民が今や新機運に向って猛烈なる努力を試みつつある」と続きます。

三十年間、東白川村は、住民の着実なあゆみの中で発展し、その確かな成果の上に立って、今、第二次総合計画の目指す理想に向かつて、また新しい出発をしようとしているのです。

所得は産業から生まれる以上、わたしたちは、常に産業の育成を図らなければなりません。そのような観点から見ると、農業が村の主要産業の位置を占めるのは、わたしたちの村の宿命のようなものですが、昭和三十一年七月号の「有畜當農」について既肥と糞尿の肥料価値を詳細に解説している記事には、

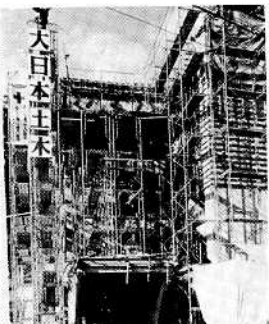
今昔の感を禁じ得ません。そして、昭和三十二年三月号には「農事改良組合の結成」の記事が一面に掲載され「新時代に即応した新しい村づくり運動の一環として」という表現が見られます。村づくりという言葉と

いい、今もなお頻りに使われており、この問題の切実さと農業という産業の置かれている立場を改めて感じさせます。

昭和三十五年に至って、この村づくり活動はいよいよ本格的に始動をはじめます。それが「新農村計画」です。

昭和三十五年九月号には、一面トップ記事で新農村計画の概要が紹介されていますが、この中で農業の基幹作目という言葉が初めて登場し、特産として白川茶の産地づくりを目指し、開畑五十畝、既成畑新植十畝、計六十畝の造成計画がたてられ、記念すべき集団茶園造成が神付地区で着手された記事も一面をかざっています。

そのほか、畜産は和牛二百五十頭、養蚕は桑園造成三十五畝、林業は植林九百三十二畝の計画がなされ、有線放送電話と農事センターの建設も盛り込まれ、総額一億五千万円のプロジェクト事業がスタートしたわけですから、現在、村をあげて進められている村づくり総合計画は、そのルーツをたどると、この新農村計画であるといっても過言でなく、このあゆみは、その後農業構造改善事業、山村振興事業と受け継がれ、特に茶業は昭和四十年の売上額一千三百五十万円が昭和六十年には、二億四千九



五十年七月村民センターが完成（建設中の村民センター）

地に甚大な被害を与えた。本村でも全半壊家屋百九戸など被害総額は一億円を超えた。当時の村の予算は三千三百万円。

またこの年の十一月第四十一号では神土小学校が「健康優良校日本一」の栄冠を獲得し、その喜びを伝えていきます。昭和三十五年五月第四十五号

「茶園造成を計画」新農村振興計画で開墾による集団茶園で白川茶の増産にとりくみ将来百畝の茶園を造るとある。

現在茶園面積百四十八畝、販売総額二億五千万円。

昭和三十八年二月第六十八号

「東白川中一本化が実現」

十七年の長きにわたって検討がくりかえされてきた中学校統合問題に終止符、四月から一校に。

昭和四十年六月第八十二号

「村営東白川病院完成」総

工費三千七百八十六万円。

昭和四十二年三月第九十九号

「大明神分校の廃止本決り」明治四十二年から六十年間にわたり七百余人が学んだ分教場が廃校になる。

昭和四十三年九月第五百号

「八・一七豪雨大あばれ」

三百七十。を記録。飛騨川ではバス二台が転落。

昭和四十八年五月第六百六十一



昭和45年2月念願の永久橋
南北橋が完成

百五十万円と、押しも押されぬ特産物に成長し、昭和五十八年には天皇杯を受賞したことは記憶に新しいところです。

昭和四十四年十月号に「新局面を迎えた農業への提言」と題する記事が目につきます。それは折しも社会問題化した米の過剰にスポットを当て「今までは比喩的なものにならない厳しさを持った試練の時代である」と訴えています。

この時を境に、米中心の農業の崩壊と、これに変わる新しい農業経営の模索がはじまり「余剰米売れ残るまま春立ち、営業の道今更に険し」昭和五十一年四月号私の作品欄「神土中通の村雲菊江さんの短歌が実感濃く胸に迫ります。

昭和四十八年十一月号では、その内容が実に重要な意味を持った記事で埋められています。その一つは、四年の歳月をかけ

て開通した県道の平バイパスの記事であり、私たちの村の生命線である白川・加子母線の改良が、今もなお重要な課題として横たわっていることを改めて痛感せざるを得ません。

そして、第二次山村振興計画樹立のための住民アンケートの発表の中で、工場誘致に賛成という意見が六九%という数字を占め、若者を対象とした意向調査では、村の将来の姿として、農業農産加工の村三八%。公害のない工場の村三六%。山林と木材の村一四%と地域の特性を生かした産業基盤の育成強化が強く叫ばれています。

この問題は、今日においていよいよその重みを増し、働く場所と、生活を支える産業の充実が、村がこれから取り組もうと

広報紙と村の変遷

三十年、三百号、一年に十号づつ発行したことになります。広報編集の立場から振り返ってみました。

三十一年三月、当時の町村合併問題を機に「よく見て、数多く聞いて、よく語り合ひ、明朗なる村づくり」を目的として第一号が発刊されました。

昭和二十八年十月から施行された町村合併促進法により、加

している第二次総合計画の中に最も重要な課題として位置づけられました。

広報第一号で登場した蚕業の記事から、三百号の歴史の中に村の産業の変遷をたどるとき、昭和五十七年八月号に見る日向地区のほ場整備事業着工の記事と、同年五月号に掲載された商工会による木材を中心とした地場産業振興計画の記事は、これからの村の産業のあり方について一石を投じ、そこから広がる波紋を受けて策定された東白川村第二次総合計画は、昭和五十七年二月号に投稿された、安江香さんの短歌のように、初日の輝きの中でいま出発しようとしているのです。

「バックホーンの土落されて整然と、ほ場整備にいま初日輝く」

茂東部五か町村の合併が促進され、行政、議会、住民が一体となつて考え、合併しないという決断を下したことは、今になってみれば世の中の大きな流れにさからったことになりました。

このように広報、広聴の最も重要な時期に生まれ、大勢に負けず冷静に判断するという大きな効果を挙げたといえましょう。その後、村づくりの進展と

にも歩んだ広報は、産業面の発展は当然のことながら、文化面にも幾多の思い出が出てきます。世相を反映するものとして、昭和三十二年九月投書による随想に「今はほとんどの家にラジオがあり娯楽本意の番組を聞いていけば、子供が満足に勉強できない、ラジオの聞きかたに一考を」というのがあり現在と比較すると興味を引きます。

また、昭和四十一年四月から七回にわたり紹介をした「趣味さまざま」の人たちの記事も当時の世相を反映して面白いものです。

情報化時代に入り、現在のようなスタイルに変身したのは、昭和四十二年三月、九十九号からです。印刷、写真技術などの向上により「読む」から「見る」広報紙への転換として、それ以後の一面の写真は時代の流れを一目で現わしています。同時に文芸、トピックス欄も登場しました。村内多くの人々の顔が多く出るようになったものこのころからです。二十年の経過がよく分かります。

昭和四十二年十月には、テレビ、自動車の普及により村民の対話、家族の対話の不足を「ろばた放談」で述べています。冒頭のラジオの話から十年です。昭和四十四年、「東京村人会」

号「できたぞ総合運動場」三年の歳月と二千七百万円を投じて完成

昭和五十年八月第百八十三号「待望の村民センター竣工」昭和四十九年着工、総工費二億五千万円を費し村民のふれあいの場が誕生。

昭和五十二年十月第百二十四号「郷土歌舞伎二十六年ぶりの公演」村に文化協会ができたのは昭和五十年十一月でした。その協会の中の歌舞伎愛好会の努力が実を結び、ついに二十六年ぶりに復活。長年の夢が実現しました。

昭和五十五年三月第百三十二号「東白川小学校開校」昭和五十三年九月から工事が進められていた東白川小学校新築工事は、五十四年暮れに完成し、神土・越原・五加の各小学校を統合。四月七日に開校することになりました。

その後、同年七月にプール、翌年二月に体育館が完成し一連の施設が完成しました。

昭和五十六年九月第百五十五号「ほ場整備事業はじまる」二年余りの準備期間を経て、日向地区でいよいよ四・四畝に着手。こうして大型プロジェクト事業がスタート、面積三百七十二畝、総事業費五十一億円。

の会員十二名が、広報のとりもつ練で里帰りが実現、それ以後広報紙をパイプ役としての各種交流が現在も続いています。中学校新卒者への広報送付もこのころ始まっています。

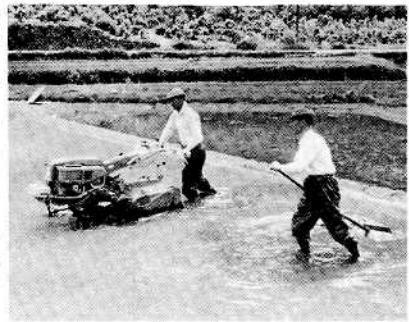
昭和四十五年、県の広報コンクールにおいて百か市町村の中から特選に選ばれました。百三十五号でやっと広報紙らしくなったといえましょう。

昭和四十二年、高度成長期の最中、越原黒淵の花の木自生地開発計画の「阻止」も大きな思い出です。文化財、自然保護を課題として後世へ悔いを残さない、村ぐるみの適格な判断断ったといえます。

昭和四十七年二月、百四十九号と百五十号での投書の中に、中学を卒業して三年間働いた子供が親の病気に貯金をはたいて面倒をみたこと、その記事に共感をした内容が掲載されています。物質面のみ急成長を続けている現在において、問題になっていることを十数年前に警鐘している人たちがいたのです。

村の文化財の保護対策に本腰を入れ始めたのは、昭和四十七年「村の文化財」としての連載が始まりました。そして、念願の村誌編纂事業がスタートしたのが昭和四十九年四月でした。このころから文芸欄も充実し、

昭和四十一年当時の代かき風景



応募も多くの人たちに参加いただくようになり、また、小学生の私の作品も出てきています。

昭和五十二年六月、二百号を迎え紙面はさらに充実し、テンポの早くなった時代における諸

問題について行政、住民を結ぶパイプ役としての重要性が益々高くなったといえます。

また昭和五十二年九月、二十六年ぶりに愛好者による郷土歌舞伎の復活も大きなニュースといえます。失われつつある連帯感が叫ばれている中、こうした動きができたことに村の人たちは拍手を持って迎えたようです。

こうした動きが、昭和五十四年からの村づくり推進会議のスタートにつながり、村の将来、地域の将来、我が家の将来をどのように進めるか、進めるためには何が必要か、語り合いによる方向づけが今動いているすべての事業の大きな母体となっているのです。

第二次総合計画

創力ある人間性豊かな村づくりを目指して

人間は、いつの時代にあっても限らないユートピアを希求し、それに近づくための限らない努力を続け、その集積を引き継いできました。それが、いま私たちが受けている恩恵であり遺産です。現代に生きる私たちは、

先人の遺したこの尊い遺産を更に価値あるものにして後世へ引き継ぎ、人類の永遠の繁栄を願う重大な立場にあります。村では、昭和四十八年に策定した長期総合計画が今年で最終年度を迎えるため、第二次総合

計画（昭和六十一年〜七十年）を画策し、昭和七十年の目標年次へ向けてスタートすることになりました。

この第二次総合計画では、村民がより安全で豊かな生活定住圏を築くため、村民の英知を結集し、力（豊かな経済力）と和（豊かな人間関係）による理想的な居住環境を創り出していくことを目指しています。

計画は、一部と二部に分けて構成されており、一部では村の進むべき基本構想（将来像）が、二部では産業、教育、文化などそれぞれ部門別の具体的な推進計画、事業が示されています。私たちが、策定された計画を理解し、それぞれの立場で積極的な参加と活動を展開する義務があります。

この総合計画は、地方自治法第二条第五項に定められている「市町村は、その事務を処理するに当っては、議会の議決を経て、その地域における総合的かつ計画的な行政の運営を図るための基本構想を定め、これに即して行うようにしなければならない」という主旨により、基本構想以下の諸計画を策定したもので、村づくりの基本方針となるものです。

人口の予測

主要経済圏域から離れた所に位置する本村の立地条件は、現在の社会情勢による人口の大幅な増加は期待できません。

したがって、土地基盤整備と併せ地場産業の活性化、合理化を進め、二、三次産業を効果的に導入して労働人口の流出を防ぎ、若年人口の定着化を図り、目標年次には三千八百五十人とする、としています。

土地利用

山林が村の面積の九〇%以上を占めている本村は、この山林資源の活用を積極的に行うための諸条件の整備と、土地基盤整備による土地利用の画策していく。また、自然保護、治山、治水などの立場から無秩序な開発、転用を抑制し、公益的機能を重視した土地利用を図る、としています。

以上、今後十年間の長期にわたる私たちの進むべき方向が示された訳ですが、この目標を実現するために、更に具体的な計画が樹てられています。

その内容については、計画が実施に移される段階で、本誌を通じてお知らせし、皆さんのご協力を得ることになります。

村民みんなが目標として進む方向

東白川村第二次総合計画

創力ある人間性豊かな村づくり（将来像）

70年の目標年次へ向かって、村民の一人一人が積極的に個性を伸ばしていく中で、産業、文化、教育など活力ある進展と調和を図り、物心相まった村を創ることを21世紀へ向けて村民の目標とした。

この将来像を実現するために、四つの目標が設定された。

創り出す
産業の基盤づくり

村づくりにはまず豊かな経済力がなければ成し得ない。
土地基盤の整備と、地場資源を掘り起して経済力をつけ、更に二次産業の誘導を図り、創り出す産業の基盤を確立することにより村民所得の向上を図る。

健康で住みよい
環境づくり

村民が健康で安全快適な居住感を得て初めて住みよいところであると言える。
そのために、自然にマッチした種々な環境整備と高齢化社会へ突入する21世紀へ向けての健康福祉体制確立を図る。

心豊かな
人づくり

これからの社会は情緒豊かで、広い視野と創造性に富んだ国際社会で活やくできる人間が要求される。
そのため、生涯を通じて学習できる機会や場などの条件整備を進める。
また、地域連帯を意図した温かい心のふれあいづくりをしていくための人づくりに意を注ぐ。

自然と文化の
ふるさとづくり

永い歴史の中で受け継がれてきた村の自然と文化は村民みんなの貴重な資産であるという認識に立ち、受け継いだ自然と文化の適正な保護活用と、更には新しい文化を育くみ将来にわたってこの恵みに浴するふるさとづくりを目指す。

確定申告をすると

税金が戻ります

サラリーマンと税金

サラリーマンが納める所得税は、普通、年末調整で過不足が精算され、納税は完了します。しかし、災害に遭ったり、多額の医療費を払った場合や、マイホームを購入したときは、確定申告をすると、税金が戻ってくる場合があります。そこで、それぞれのケースについて見てみましょう。

雑損控除を

受ける場合

地震、火災などの災害や盗難横領により住宅や家財に損害を受けた場合、表の(1)と(2)によって計算した金額のうち、いずれが多い方の金額が雑損控除として所得金額から控除されます。なお、損害額のうち、保険金などで補てんされた額は除かれ



ます。雑損控除を受ける場合は、被害を受けた損害額の明細書や領収証を確定申告書に添えて提出するか、確定申告書の提出の際に提示してください。

医療費控除を

受ける場合

病気やケガなどで、多額の医療費を支払った場合、所得金額から控除されるのが医療費控除です。

控除される額は、別表の計算式で算出します。医療費には、控除の対象にならないもの、ならないものがあります。

▶ 雑損控除の計算 ◀

- (1) 損害額－所得金額の10%
- (2) 損害額のうち災害関連支出の金額－5万円

▶ 医療費控除の計算 ◀

$$\left(\begin{array}{l} \text{昭和60年中に} \\ \text{支払った医療} \\ \text{費の総額} \end{array} - \begin{array}{l} \text{保険金など} \\ \text{で補てんさ} \\ \text{れる金額} \end{array} \right) - \left(\begin{array}{l} \text{5万円または所得} \\ \text{金額の5\%のい} \\ \text{れか少ない額} \end{array} \right) = \text{医療費控除額 (最高200万円)}$$

住宅取得控除を 受ける場合

民間の金融機関などの住宅ローンを利用して、マイホームを建てたり、購入した場合で、一

医療費控除の対象となる医療費とならない医療費

対象となる医療費

- ① 医師、歯科医師に支払った診療費や治療費
- ② 治療、療養のための医薬品の購入費
- ③ 病院や診療所へ入院するための費用
- ④ マッサージ、指圧師、はり師、きゅう師、柔道整復師などによる治療を受けるために支払った施術費
- ⑤ 保健婦、看護婦などに対して支払った療養上の世話の費用
- ⑥ 助産婦に対して支払った分べんの介助料などで、その病状に応じて一般的に支出される水準を著しく超えない部分の金額です。

対象とならない医療費

- ① 美容整形のための費用
- ② 健康増進や疾病予防などのための医薬品の購入費
- ③ 人間ドックなどの健康診断のための費用（ただし、診断の結果、重大な疾病が発見され、引き続き治療を受けることになったときは、健康診断の費用も医療費控除の対象となります）
- ④ 親族に支払う療養上の世話の費用
- ⑤ 治療に直接必要のない近視、遠視のための眼鏡や補聴器などの購入費
- ⑥ 紙オムツ、寝具類の購入費および医師などに支払う謝礼金

定の条件に当てはまるときは、住宅取得控除が受けられます。この控除は、入居した年から三年間、各年分の所得税から一定額が控除されます。サラリーマンの場合は、一年目について確定申告が必要ですが、二年目、三年目は、税務署から送られてくる「住宅取得控除証明書」などの書類を、勤務先に提出して年末調整で控

除を受けることができます。◇ 雑損控除や医療費控除、住宅取得控除など還付を受けるための申告は、一般の確定申告が始まる二月十六日より前でも受け付けています。◇ それぞれの控除について詳しく知りたい方は、関税務署 ☎ 五七五二二二二三番または税務相談室へお尋ねください。



新しい年金制度 第一回

制度改正の 四本の柱

今年の四月から公的年金制度が変わります。

今回の改正は、今後、高齢化社会を迎えるなかで、公的年金制度を長期的に安定したものに改革することを目的としています。主な改正点は①「基礎年金」制度の導入——従来の国民年金の適用を広げ、すべての国民が加入する②給付水準と保険料負担の適正化③婦人の年金権の確立④障害年金の充実——などです。

今後、三回にわたって「新しい年金制度」を紹介します。

1 サラリーマンも国民年金に加入

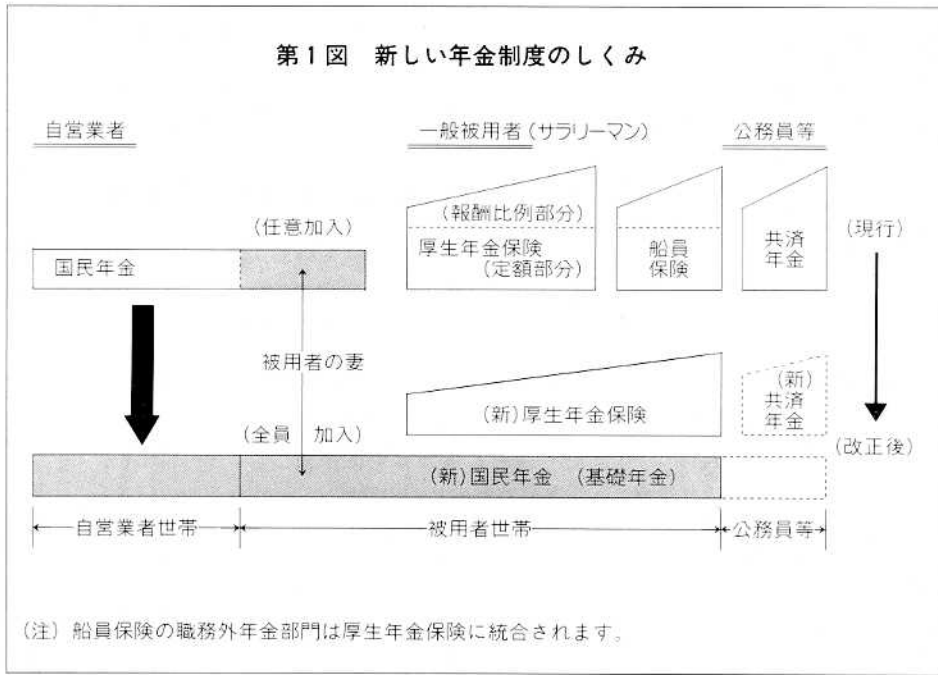
■ 基礎年金制度の導入 ■

今回の改正で「基礎年金」制度が導入されます。基礎年金とは、今までの国民年金に自営業者などだけでなく、サラリーマンやその奥さんなども含めた国民（被保険者）すべてが加入し、共通の給付として支給されるもので、国民すべてが年金の基礎部分を支えているというものです。

この結果、厚生年金保険は国

民年金の上に乗し、加入期間分の「報酬比例の年金」支払った保険料額に応じた年金を支給する二階建ての新体系となります（第一回参照）。また、船員保険は厚生年金に統合されます。なぜこのような改革が必要なのか。今までの公的年金制度は、サラリーマンなどを対象とする厚生年金、船員を対象とする船員

第1図 新しい年金制度のしくみ



保、公務員などを対象とする四種類の共済組合、および自営業者、農業者などを対象とする国民年金に制度が分かれていま

した。そして、各制度ごとに給付と負担の設計が行われていたために、結果的に制度間にさまざまな格差が生じていました。また、制度が職域を中心としてタテ割

りてつくられているため、産業構造の変化や、それにもなう就職構造の変化に対応できない部分がありました。例えば、国鉄共済組合や船員保険の被保険者の減少は、制度の財政基盤を不安定なものにしています。そのほかにも、制度が分かれているため、一人の人が複数の年金を受けるケースなどが生じており、その適正な調整を行う必要があるといった問題もありました。

〈基礎年金制度のメリット〉

こうした問題を解決するために導入された基礎年金制度のメリットを見てみましょう。

(一) 制度間の格差が是正できる。各制度共通の仕組みなので、すべての国民にとって給付の条件や負担が等しくなります。

(二) 就業構造の変化による影響を受けにくい。

自営業者もサラリーマンも一緒にあって制度を支えているので、ある業種の被保険者が減少しても基礎年金部分へは影響が及びにくくなります。

(三) 一人一個の基礎年金が確立される。重複給付などを防ぐことができます。

2 現状のままだと負担増に

■ 給付と負担の適正化 ■

今回の改正では、年金の給付と負担を適正化するために、サラリーマン世帯の場合、標準的な年金額が現役勤労者の平均賃金の六八%という、現在の水準程度が将来にわたって維持されるようになりました(第2図参照)。

〈適正化を図る背景〉

現在、年金加入者の平均加入年数は三十二年ですが、今後は四十年程度が一般的になると考えられます。現状の給付水準をそのまま続けていくと、将来の

年金額は、現役勤労者の平均賃金の八割以上にもなります。さらに、奥さんが国民年金に四十年間加入していたとすると、夫婦合計の年金額は現役の平均賃金の一〇九%になってしまいます。

現役勤労者と年金受給者の生活費の内訳を見ても、現役勤労者は賃金から税・社会保険料を引かれ、さらに子供の教育費や住宅ローンなどを払っていかなければなりません。これに対し、年金受給者は、税法上優遇されている上に年金保険料の支払いは不要で、家計も老夫婦二人の生活を維持していけばよい。

これらのことを考えると、現役勤労者の平均賃金の八割や十一割というのは、いかにも高い給付水準といわざるをえません。

へピーク時には四倍の負担に

また、このような高水準の給付を支えるためには、現役世代の保険料負担をピーク時(昭和百年ごろ)には現在の四倍程度に増やさなければならなくなり、負担面から見ても、現行制度の構造的水準は高すぎるということができます。

このような状態にならないために、給付や負担の水準を適正化することが必要なのです。

3 奥さん名義の年金が持てます

(サラリーマンの妻)

■ 婦人の年金権の確立 ■

改正前の制度では、サラリーマンの奥さん(専業主婦)は、国民年金に任意加入しない限り自分名義の年金は持てませんでした。

今回の改正では、サラリーマンの奥さんを含む国民が国民年金に加入することになり、それぞれの名義の基礎年金の支給を受けることができるようになります。

ります。

これにより、万が一サラリーマンの奥さんが離婚したり、障害者となった場合でも、従来のように国民年金に任意加入してはいないと無年金になるといったとはなくなり、奥さん名義の老齢基礎年金や障害年金の支給を受けることができます。

4 障害基礎年金の適用を拡大

■ 障害年金の充実 ■

二十歳未満で障害者となったかたは、今までは二十歳を過ぎても低額の障害福祉年金しか受けられませんでした。これらのかたがたも改正後は、二十歳以後に障害者となったかたと同額の障害基礎年金が支給されることとなりました。

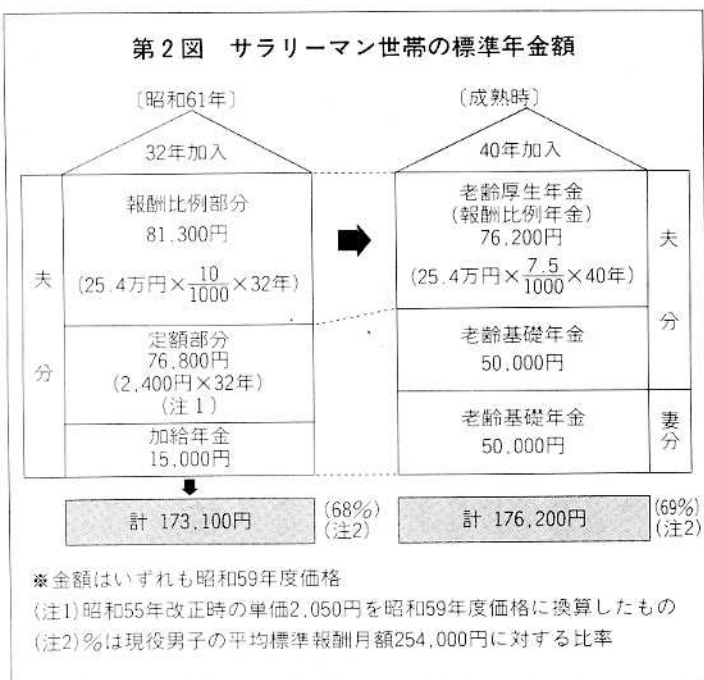
障害基礎年金の拡大

障害福祉年金	障害基礎年金
1級障害 38,400円/月	→62,500円/月
2級障害 25,600円/月	→50,000円/月

(注) 月額はずべて昭和59年度価格です。



第2図 サラリーマン世帯の標準年金額



岐阜県ユネスコグランプリ 文化賞を受賞

東白川中学校

去る、十二月二日、東白川中学校は、ユネスコ協会岐阜県支部から、ユネスコ青少年グランプリ文化賞の受賞の荣誉に輝きました。

東白川中学校は、文化部門の表彰を受けたのです。では、何が認められ受賞となったかを簡単に歴史をふり返る中で紹介します。

ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）とは、『ユネスコ憲章』という条約によって、一九四六年（昭二一）に設立された政府の国際機関となっています。日本では、一九五二（昭二七）に『ユネスコ活動に関する法律』が制定され、国際間の連携を密にするため、現在フランスのパリに常駐代表部がおかれてい

私たちの村では、古く明治、大正、昭和にかけて村芝居（歌舞伎）が毎年上演されてきました。日頃の貧困とのたたかいを忘れての唯一の娯楽でもあったことでしょう。

夜な夜なの練習期間から本番まで、歌舞伎への話題は尽きる

ユネスコでは、教育、科学、文化、国際の四部門で顕著な貢献が認められた個人、グループ団体に對しての表彰活動が行われています。



ユネスコ協会長から受賞する
千田中学校長—中学校ホールで

ことなく、演ずる者、観劇する者の心は一つに溶け合っていたことでしょう。開幕となれば、「中食」の手料理に酒もすすみ、旧知の間柄をいっそう温め、和やかな雰囲気の中から、「千両」「大根」の声援に爆笑が渦を巻き、ときには激怒し、涙を流す場面もあったことでしょう。人々は歌舞伎を通じて、仏教の教え「勸懲善悪」の心を養い「結」の精神を育んでいったことと思えます。



今回の受賞の荣誉に輝いた
青少年グランプリ文化賞

唯一の心のよりどころだった歌舞伎も、やがて出現した地方巡業のプロ役者や、活動写真の普及によってうすれはじめ、戦時体制下に入って消滅していったのです。戦後の一時期の復活のきざしも姿が消えました。戦後三十年たった昭和五十年文化財保護政策の支えと、脈々と心の中に残されていた情熱が苦難を乗り越えて、東白川村歌舞伎愛好会となって歌舞伎復活へと結ばれていったのです。文化の灯が再燃したのです。嬉しいことには、子供たちを

加えての出発だったのです。以後十年、地道な活動が続けられているのです。

文化の灯を消してはならない正しく子供たちへと継承されていかなければなりません。村民の深い理解と支援は勿論のこと

地域は一番大切だと考えます。灯を消したくない一心から、グランプリに実態を示めし、評価を受けた結果の受賞であり、これからは、これを契機として

歌舞伎に限らず、村の文化を正しく伝承していく心を育てたいものです。文化を愛する者は、村を愛する心に結びつくと思

東白川中学校長

千田 邦好

けいじばん

戸籍の窓 敬称略



誕生おめでとう
ございます

▽十一月生まれ

（陰地） 安江 千章 舞

（久須見） 古田 茂樹 修

（大明神） 安江 正人 真帆

千恵子 真帆

（大明神） 安江 正人 真帆

千恵子 真帆

いつまでも
おしあわせに

樋口 春市（中谷）

鈴村 綾女（白川町）

小池 章之（八百津町）

安江 郁美（上親田）

田口 喜一（陰地）

桂川 聡子（大明神）

安江 孝洋（平）

中島 章江（平）

樋口 章久（加舎尾）

安江 恵（下野）

稲垣 隆（陰地）

今井 初美（大口）

安江 雅人（下親田）

小池 洋子（白川町）

山崎 晃（愛知県豊田市）

藤井 道子（大沢）

2年連続県一位

東白川小学校に 今年度も二つの栄誉

認しております。そして、これらの成果は、体だけでなく学力にも表れています。

一、健康優良学校として
本校では、保健安全計画に基づいた体力づくり、保健指導、安全指導、環境整備、給食（食生活）指導など多方面に渡る指導を行っています。

体力づくりの一環として力を入れている業間運動では、季節も考慮して、アスレチックを利用したり、なわとびやマラソンそして、年間を通して東白川小全校体操と名付けた本校独自の体操も行っています。この体操は、夏休みなどの長期の休みの間も、有線を通じて各家庭に音楽を流し、家庭でできる親子での運動（親子体操）として取り入れています。

また、この業間を含め運動する体育の時間は、半袖・半ズボンでがんばろう、ということと、皮膚の鍛錬による健康増進を目指しています。

安全指導としては、毎月の登下校指導のほかに、交通安全教室も実施しています。先日の交通安全教室では、山田巡查部長

にご足労願ひ、実際の自動車と人形で実験を見せてもらいました。自動車にひかれたあとの無惨な人形の姿を目にして、子供たちは、交通事故の恐ろしさを

昨年に引き続き東白川小学校は、今年度も「健康優良学校」並びに「歯の優良学校」として、県一位の栄誉を獲得することができました。そして、十一月三日には健康優良学校岐阜県代表として三宅校長と、児童代表の樋口貴則君が、東京で表彰を受けました。

想像以上の大きさで感じ取ったようです。

保健安全に関
して、PTAの方々の活発な活動も進められており、母親委員会を中心となつて、視力低下の子防と、家族だんならの時間の確保を目的として、「ノーテレビデー」を設ける

などの試みもなされています。

二、歯の優良学校として
歯科指導は、保健指導の一部として、力を入れているものですが、特に、「歯科保健教育」「保健管理」「予防活動」と、三つの角度から指導を進めています。

歯科保健教育としては、児童に歯科に関する知識・理解を深めてもらうため、本校独自の歯科指導用テキストをもとに学級保健指導として、歯科指導を各担任が行っています。

保健管理としては、熊崎歯科医先生のご指導を受けながら、年二回の歯科検診の後、歯科治療も実施しています。
予防活動としては、毎給食後の歯みがき、カラーテスト、フ



全日本健康優良学校表彰式で受賞する
三宅校長と児童代表樋口貴則くん
＝東京都朝日ホールで

ッ素洗口などがあげられます。
むしろ歯のない丈夫な歯は、健康な体をつくります。健康な歯を持つて、力を入れることが、どんなにすばらしいことを児童にもっともつと理解し、直に感じ取ってほしいと願っています。

十月二十三日の、本校の研究発表会の際には、意欲的に、そして伸び伸びと学習し、そのほかの活動に取り組む子供たちの姿を見て、他校の先生から多くのおほめの言葉をいただくことができました。

ここに紹介したのは、ほんの一例にすぎませんが、今後も、身心共に健康な児童の育成を目指して、がんばりたいと思います。

東白川中学校

佐久間明生（東京都）
今井 初美（大沢）



おくやみ
申しあげます

安江むぎに 88歳（柏本）
蒔田菊次郎 87歳（曲坂）
松岡 きの 94歳（栃山）
古田きよへ 85歳（平）

■善意の寄付 敬称略

【社会福祉指定寄付】
現金五万円―安江正夫（平）

■工事入札結果の公表

①は入札期日②は落札金額
および落札業者③は指名業者

◇大屋敷谷二号
災害復旧工事

①十二月二日②百万円―東濃重機建設③新田建設、山田土建機、(有)立保土木、東濃重機建設、(有)マルト土木、丸登建設機

◇大屋敷谷一号
災害復旧工事

①十二月二日②五十五万円
東濃重機建設③前記六社

◇村道後洞線
災害復旧工事

①十二月二日②五十八万円
新田建設③前記六社



春の夜の祭典

ハレー彗星

76年ぶりに最接近!

今春は、一九一〇年(明治四十三年)以来実に七十六年ぶりの訪問者「ハレー彗星」と第二回目の大接近となりま
す。一生に一度の、今世紀最大のスペースファンタジーを
ぜひこの目でみとどけたいものです。

― 昨年(十一月ごろから、ハレー彗星(ホーキ星、コメット)が話題になっています。前回は
一九一〇年(明治四十三年)に

地球に大接近以来、実に七十六年ぶりのことです。

このハレー彗星が地球に最も接近して観測しやすいのは二回で、一回目が昨年(十一月二十七日ごろと、二回目は遠ざかっていく途中にもう一度地球とすれ違う、今年の四月十一日前後です。

したがって、観測時期は三月十一日から四月十一日ごろが一番の見どころとなるようです。この時期の明るさは、四〜五等星ぐらい(肉眼では六等星まで)

一生に二度と見えぬ天体最大の景観ハレー彗星、明治四十三年五月十九日地球に最も接近すると聞き、同日午前三時起床。明け方の寒心の中西の上の道へ行き、大空を仰げば蒼天晴れわたって、一点の雲なく、星は満天にきらめき、星河は北東より南西に涉つて居る。

眼を東天に転ずれば、遙に濃信国境の山派(付知山といふ)の巔辺より度々向洞の空まで探照燈の様ふ尾を引つぱつて居る。また核星は見えないがこれが彗星であるかと直感し、其雄大なるに驚ひた。此星は長さ数千方哩ありといふ。

眺めて立つこと四十五分、東天次第に白らみ彗星の尾も薄くふつた。二十日太陽面を通過するといふ。

五月二十三日、最鮮明雄大に見ゆ以後毎晩雲水き限り見え、六月三日判明ならず。

田口三之助

このころ新聞には記事だけで写真はでなかったと思う



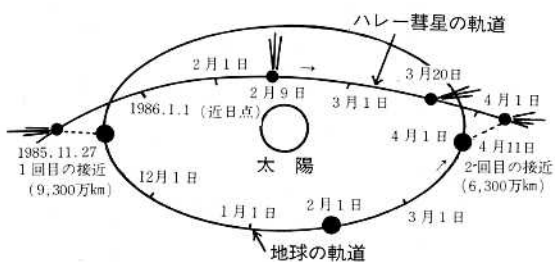
見えることになつて(尾の長さは十度ぐらいといわれ、南の地平線近くに現れるようです。(前回、明治四十三年の大接近ではマイナス一等星の明るさで、尾の長さは最大時百四十度までなつたとか)それに比べると今回は、少しもの足りない感じですが。

人類が記録として残しているハレー彗星の訪問は、今度で三十回目。その実体は、直径十、百ぐらいのチリと氷のかたまりとされています。それが、はるかなオールト星雲から太陽に近づくとつれて、太陽熱によつて解けガスを噴き出し、それが直径十万、百ものコマ(髪の毛の意味)と尾になるわけで、地球の直径が一萬三千、百ですから驚くべき大きさになるわけです。

また、ハレー彗星にまつわる伝説は多くありますが、最近話題となつているのが、イギリスの天文学者が唱えている「生命は彗星で運ばれてきた」という考え。彗星の中に閉じ込められていた生命源が、太陽によつて解放され、宇宙にちらばつた

というもの。ただし、まだ確証はありませんが、いづれにしても私たちの生命のルーツがハレー彗星と聞いて、また驚きです。今回ハレー彗星について、いろいろ調べていたところ、本村

ハレー彗星と地球の動き



にも前回の明治四十三年に観測した記録がありました。それは、神土中谷の田口良三さんのお父さん、三之助さんの日記の中に記されたもので、上に掲げたものがそれですが、前回の様子がよく分かります。

良三さんも当時、九歳でお父さんと一緒に裏山(中西の上の道)で観たと語っておられ、現在八十五歳で二度目の遭遇に期待しておられます。

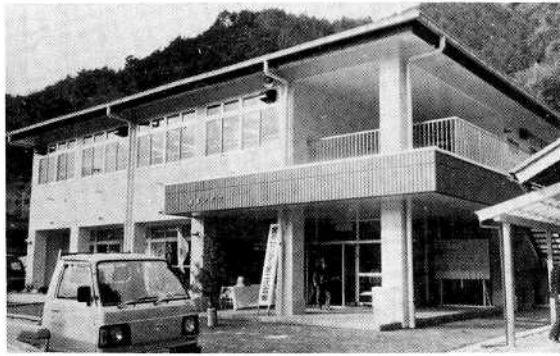
次の訪問は、二〇六二年。三十回目にしてやつと化学のメスが入られようとしているハレー彗星。今世紀最大の春の夜の祭典を、次回の訪問までそれぞれの家庭で記録を残したいものです。

できたぞ越原センター

幅広い活用を期待

昨年の七月から工事が進められていた、多目的集会所「越原センター」がこのほど完成し十二月二十五日に竣工式が行われました。

この施設は、昭和五十五年度から事業が始まった第三期山村振興農林漁業対策事業の最終事業として建設されたもので、越原、五加の山村広場を皮切りに日向のほ場整備、五葉会館、黒淵の簡易給水施設などを建設し、最後となった越原多目的集会所



越原センター

地域の連帯を生む拠点施設として期待される

設、名前を改め越原センターを完成し、この事業のしめくりとなったものです。

この施設の完成により、越原センター、五葉会館、五加センター、子護会館と性格的に複数の集落間で使用できる。村民センターのサブ拠点施設の整備が一応完了したことになりました。

施設の利用にあたっては、越原地区の皆さんが集会、研修、農産物加工など気軽に利用していただき、多目的な利用を通じて、農林業生産の増強、

生活の向上を図る目的で建設されたものです。

老人クラブや婦人会、青年団、子供会などのサークル活動、また、レクリエーションの場として幅広い活用と、地域の連帯感を高めるための「村づくり活動の拠点施設」として幅広い利用を期待しています。

建物の位置は越原日向で、老朽化した老人クラブの本造集会所(逢来館)を取り壊わし建

設したものの。総事業費は六千三百六十八万円。鉄骨二階建て屋根塩ビ鋼板で延べ三百五十平方

一階には、四十八・六平方の研修室(和室三十畳)、調理台二台を備えた調理実習室、玄関、ホールなど。

二階は、いす百五十席分の百五平方の多目的ホール、三十一・五平方の会議室、湯沸室などを備えています。

施設は、村から地区へ管理委託が行われ、今後は越原センター運営委員会が管理、運営をしていくことになりました。

施設を使用する場合は、……▽許可を他人に譲り渡したり、使用目的以外の使用をしない。▽タバコの火の後始末をしっかりとる。

▽戸締りの確認および使用備品の清掃をする。……などの厳守事項を守り、いつまでも大切に使用してください。また、利用しようとするときは、管理人へ早めに予約申し込みし、当日カギを借りて使用してください。

▽管理人 安江信一さん(日向) 八二六五〇、有線三二〇八

小学校の五年生を中心に四年生と六年生の一部を加えた八十六人を対象に、年末年始の家庭行事についてアンケート調査をしました。

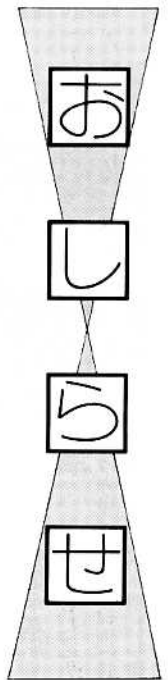
門松については、①門松を立てる三〇%、②玄関に枝松を飾る四三%、③門松の絵をはる二七%で、ひところは全部の家庭が門松の絵をはっていたのに、今では、七三%の家庭で本物の松が飾られています。

小学校高学年を対象に 年末年始の家庭行事についてアンケート

もちつきは、どうするのかの間では、①昔ながらにうすときねでつく三一%、②動力のもちつき機でつく六九%でした。また花もちを作るかどうかでは、①作る二七%、②作らない七三%でした。手のかかることは、だんだんすたれていくようです。

失われていく伝承行事

家庭で父親がそれをするところが八〇%でした。若水汲みは、昔は、元日の朝、まだ暗いうちに井戸や泉へ若水を汲みに行っていたのですが、今は水道の水を使う家庭も多くなりました。一家の主人自らが行うのがたまたま、あらかじめ新しい桶、ひしゃくなどを用意しておき、汲んだ若水で、御福茶をいただき、雑煮をつくりまします。正月が年神のまつりであったことから若水汲みは、極めて厳かな行事でした。さて、これらの数字でみるまでもなく、伝承行事がだんだんおろそかにされるのを残念に思います。家庭行事の中で培われる豊かな心、宗教心、ゆとり、季節感、生活の折り目や節目、さまざまな感動などを考えると子育てへの影響の大きさをひしひしと感じます。失われていくものが多い昨今、家庭でも地域でも、意図的に伝承行事を守る努力をしたいものです。



歳末たすけあい募金 89万円に

共同募金会東白川分会が中心となつて行つた歳末たすけあい運動は、たくさんの方々の例年と変らぬ深いご理解と温かいご協力により、ほぼ昨年並みの八十九万円となりました。お寄せいただいた善意の結晶は、昨年暮れに民生委員の皆さんが、

んが、本村からの入所者がある福祉施設などを訪問して慰問の金品として贈られたのをはじめ、十二月中に村内の恵まれないかたがたに慰問金として届けられました。

ご協力ほんとうにありがとうございました。善意をお寄せいただいた多くの皆さんに紙面をもってお礼申しあげます。

募金内訳と配分細は、次の表のとおりです。

歳末たすけあい募金 (単位：円)	
■募金内訳	
組長扱い	540,005
職場、団体、サークル	146,990
事業所	118,634
個人	77,631
窓口募金箱	6,740
合計	890,000
■配分細	
生活保護・準保護世帯 (19世帯)	173,000
重度心身障害者 (36人)	156,000
福祉施設入所者 (13人)	91,000
長期入院者 (10人)	78,000
母子(父子)家庭 (14世帯)	93,000
ねたきり老人 (14人)	90,000
独居老人 (22人)	130,000
施設配分 (7施設)	79,000
合計	890,000

そのほか、東白川農協と五加茶生産組合からお茶をいただき各施設へ配分しました。

募集します 通信制高校生徒

県立華陽高等学校では六十一年度の通信制生徒を募集します。通信制教育とは、いろいろな事情で高校へ通学できない人のた

最低賃金の 改正について

岐阜労働基準局では、岐阜県内の最低賃金を別表のとおりに改正しました。

使用者の方は、この最低賃金額より低い賃金では労働者を原則として使用することができま

岐阜県で適用する最低賃金一覧表

件名	最低賃金額		実施年月日	
	日給	時間給		
岐阜県最低賃金	3,518円	440円	60.10.5	
産業別最低賃金	食料品・飲料・飼料製造業	3,613円	452円	61.1.4
	繊維産業	3,625円	454円	61.1.4
	木材・木製品・家具・装備品製造業	3,819円	478円	61.1.4
	出版・印刷・関連産業及びパルプ・紙・紙加工品製造業	3,686円	461円	61.1.4
	窯業・土石製品製造業	3,692円	463円	61.1.4
賃金	機械・金属製品等製造業及び自動車整備業	3,963円	496円	61.1.4
		3,752円	469円	
		3,554円	445円	
	卸売業 小売業	3,817円	478円	61.1.4
	3,608円	451円		

めに、月に二、三回、日曜日に登校して指導を受け、家庭で学習をしながら添削指導を受けて、必要な単位をとれば、県立高校の卒業資格がとれる制度です。

▽入学資格 中学校を卒業した人は書類選考。高等小学校を卒業した人は簡単な試験。高校中退者は書類審査および面

せんので十分注意してください。

岐阜県最低賃金については、昭和六十年十月五日から、食品製造業など産業別最低賃金については、昭和六十一年一月四日から実施されます。

今回の改正で、十八歳未満または六十五歳以上のかたは、産業別最低賃金から除外され岐阜県最低賃金が適用になりますが、

接で入学できます。年齢や職業は問いません。

▽出願期間 三月十日から四月九日まで直接学校へ。

詳しくは、県立華陽高等学校 千五〇〇 岐阜市大繩場三の 一 ☎〇五八二一五二二二二一へ お尋ねください。

改正前産業別最低賃金の適用を受けているかたについては、旧金額を下廻ってはいけません。

詳しいことについてお問い合わせは、岐阜労働基準局賃金課 (電話)〇五八二一四五一八二一(一) または、関労働基準監督署 (電話)〇五七五二二一三二五二一(一)へお尋ねください。

今月の図書



還らぬ息子泉へ

朝倉 和泉著

あなたが逃げて、逃げて追いかけて、泉を愛しているといい続けるべきだった。そうすれば、少なくとも母親の愛情を失ったという誤解だけは受けずに済んだものを。『祖母殺し高校生自殺事件』悔恨と追慕の情を文学まで高めた、不幸な母親の手記。

塩狩峠

三浦 綾子著

暴走する列車、おびえる乗客。ハンドブレーキを握る信夫は、とっさに線路に飛びおりた。明治末年、北海道旭川の塩狩峠。乗客の命を救うため、自らを犠牲にした青年の愛と信仰に貫かれた生涯をたどり、人間存在の意味を問う。無垢の魂が、いかに愛し、悩み、自己とたたかったのか……。原作の意識に目覚めた人間の心の葛藤が実在のモデルを得て、追真の筆致で描かれる人間愛のドラマである。

ふるさとの花 ①

カンアオイ

(寒 葵)



カンアオイは、関東から西の各地に自生するウマノスズクサ科の常緑の多年草です。東白川村でも山すその日陰などに多く自生します。寒中でも葉が青いところからこの名があり、またの名をオゲコバナ、ドガンズなどといいます。江戸時代には、細辛葵、常磐草と呼ばれ、観葉植物として人気があったそうです。カンアオイの地下茎は、横に

はって葉をつけます。葉は、ハート形か広卵形で、暗緑色をしており、ときに白紋があります。十月ごろから翌年二月ごろにかけて、暗紫色か緑色の小さな鐘状の花を、葉の柄の根元に三、四個つけます。萼は多角で、先が三つに裂け、花弁はありません。カンアオイは、ギフチョウの餌になります。ギフチョウは、このあたりでは四月中旬ごろか

ンアオイの葉の裏に産卵し、その後十日から二週間ほどで幼虫となり、カンアオイを食べて育ちます。カンアオイ属は種類が多く、北半球に約百種、日本にはウスバサイシン、フタバアオイなど約三十種あるといわれています。ウスバサイシン(薄葉細辛)は、カンアオイと違い、葉が薄く冬になると枯れます。地下茎と根の香気は、カンアオイよりも強く、花も一個だけ横向きに咲きます。揚げ物、サラダ、酢の物などにして食べられます。同属のフタバアオイ(二葉葵)は、一株から必ず二枚の葉がでるところからこの名があり、五月ごろ花が咲きます。京都加茂神社の祭りにフタバアオイの葉



を使うところから加茂葵ともい、徳川家の葵の紋は、この葉を圖案化したものです。ウスバサイシンもフタバアオイも東白川村には自生しないようです。

今月の料理



越原日向
熊沢梅子

ツナ缶のサラダ

カレー風味のさっぱりしたソースが、ツナとよく合います。

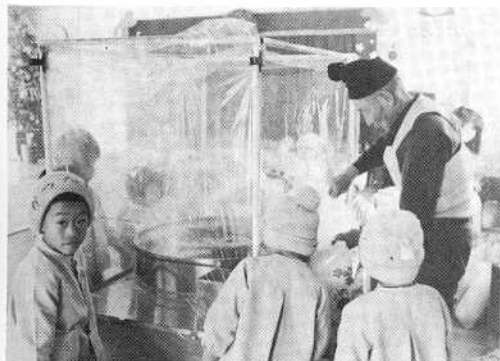
【材料】四人分

ツナ二〇〇g 缶一つ、玉ねぎ小 1/2個、カレー粉小サジ一、しょうゆ大サジ二、レモン汁(または酢)大サジ二、サラダ油大サジ二、レタス1/2個、リンゴ一個、レモン一個

【作り方】

- ①材料のカレー粉、しょうゆ、レモン汁または酢、サラダ油を混ぜ合わせてソースをつくる。
 - ②玉ねぎは小口から薄切りに、レモンはいちよう切りにし共に①のソースに加える。
 - ③ツナも汁けを切ってソースに加え混ぜあわせる。
 - ④レタスをくし形に切って器に盛り、ツナをソースごとに盛り、リンゴもくし形に切り、パセリを飾る。
- (献立ヒント)ポテトコロッセ

よい子たちにと綿菓子を作る今井倉太さん
—神土保育園で



カメラ
の
目

20回目を迎えた 綿菓子のプレゼント

神土平の今井倉太さん(85歳)は、保育園児にクリスマスのプレゼントをと毎年12月のこの時期に綿菓子を贈っておられます。

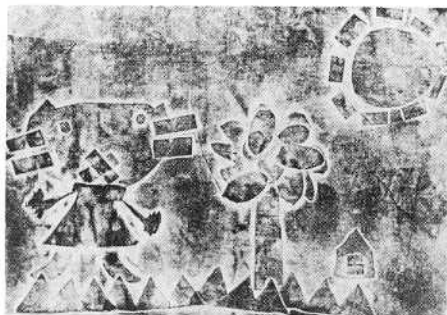
恒例となったこのプレゼントは、今年で20回目。今井さんは、生業であった綿菓子作りの仕事も高齢のため3年前に引退しておられますが「園児たちの喜ぶ顔が見たくて」と綿菓子1本1本に子供たちが健やかに成長してくれるよう願いを込める今井さん。「綿菓子のおじさんありがとう」とほおばる園児たちに、心あたたまるものがありました。

田口由里さん(三歳)・智也くん(二歳) 〓 平和博さん・悦子さん(長女)・長男



すくすく育て

紙はんが
やすみわ(五歳)〓西洞



子どもの作品



あなたの作品をお寄せください。
・初心者、とくに若い人たちの投稿を歓迎します。
・毎月末までに、神土伊藤重雄宛に出してください。

〓遠つみ祖の墓の土塊持ち帰り合せ祀りて秋陽しげし

三戸 きり

小舎跡に咲きたる菊の紅に植へにし父の面影うかぶ

安江 鉦夫

〓転作の大豆畑漸く片付きて雨雲の下冬の色濃し

田口 巽午

箸茶碗持ち来て何度も足運び慣れぬ左で俺だけの飯

安江 香

背丈越すよしを背負ひて桑畑に敷きぬ来年も蜜飼はむと

安江 幸

変りゆく裸木の梢雲の影黙して今日も石地蔵立つ

安江 竜玉

冬告ぐる雪虫の舞ふ夕暮れを庭のさざんか紅く眼に沁む

田口 恵津

ヤンヤンと群衆とよめき波となる高山祭の布袋台こは

伊藤 重雄

寒き日はリニューマチ頼みに痛むとふ姉の瞳の澄みてかなしき

今井 かな

〓もろもろの戻すすべなき歳月は子らにも託ふる事多く持つ

小池 弘子

うろたえて輓きつふされて張りつきし蛇の哀れや舗道の上に

村雲 うめ

〓慈恩寺の庭の紅葉は炎ゆるがに朝日奈一家の墓地静まりぬ

田口 一枝

呼鈴の聞ゆる所に居て欲しと言ひその声今も忘れず

今井 良吉

〓薄暗き合掌造りの縁側に媼は一人刺子さし居つ

伊藤 美枝

祐泉寺境内巡ればゆくりなり白秋歌碑あり文字辿り読む

安江 澄

文化祭展示の廊下に佇みて友と並びし吾が書を恥づる

安江 守平

あきらめし畠に出られる幸せは野菜ぬく手に秋陽やわらぐ

病後 安江すみよ

〓つきつめて歌のまことは万有を愛しむ心にありと言はんか

田口 良三